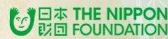




日本財団 HUMAIプログラム

The Nippon Foundation HUMAI Program

Supported by 松尾・岩澤研究室
MATSUO-IWASAWA LAB U TOKYO



運営 ZEN 大学 第二松尾研

【日本財団HUMAIプログラム】応募フォー ム ※締切6月6日（金）23:59

▼「AI x 人文社会」—問いを交わし、過去を継ぎ、未来を描く—

日本財団HUMAIプログラム 第一期メンバー募集

- X (旧Twitter) へのリンクは[こちら](#)です。 (@HUMAI_program)
- Youtubeにて、4月19日にゲンロンカフェにて実施された立ち上げのイベント「[AIと人文知は共存できるか—HUMAIから生まれる次世代の研究者](#)」の様子がご覧になれます。概要説明もご覧いただけますので、よろしければご確認ください。
- HPへのリンクは[こちら](#)です。

※応募の際には、必ず下記内容をご一読ください。

◆◆◆プログラム概要◆◆◆

▼日本財団HUMAIプログラムとは

日本財団HUMAIプログラムは、

人文社会領域に関心をもつ大学生・大学院生・ポスドクの皆さまが、専門分野を越えて交流できる場です。

本プログラムでは、奨励金による支援やコミュニティへの参加、定期的なアウトプットを通じて、参加者がAIの発展を積極的に取り入れ、学術活動を推進することを後押ししていきます。

また、人文社会系を専門としていない方でも、既存の枠組みに捉われない立場から人文社会的な関心や問題意識を有する方であれば、所属する大学や学部・研究科を問わず応募可能です。

日本財団HUMAIプログラムは、社会やアカデミアがAIを前提とした形に変容し、再構成されていく中で、参加者一人ひとりが関心や課題意識を深く掘り下げ、参加者同士の交流を通じて、新たな視点や着想、方法論に基づく学術研究活動や実践が生まれる場の創生に取り組んでいきます。

▼想定する領域

下記に例を挙げますが、多様な領域を想定しており、範囲を限定するものではありません（学際的・実践的な場合など複数の関連領域にまたがる場合も想定）：

歴史学, 言語学, 経済分析, 哲学, 心理学, 社会心理学, マンガ研究, 平安文学, 島嶼地域科学, 組織論, 教育学, メディア論, 計算言語学, 科学技術論, アメリカ現代思想, 物語構造論, 文化人類学, 民俗学, 法学, 社会科学, 脳神経科学, 自然言語処理, ボカロ音楽論, 政治学, 動物言語学, 知的財産法, データサイエンス, 倫理思想, 経営学, デザイン, クリエイティブ, 宗教音楽, 美術史, ゲーム研究, 人文地理, 記号論, 観光学, etc...

▼奨励金



ご自身の学術活動・研究活動を深めることを目的とし、参加者は奨励金による支援を受けることができます。

◇支給額

- ・奨励金A：年間最大 28万円（AI活用奨励金として毎月最大3.5万を支援）
- ・奨励金B：年間最大100万円（研究補助費として毎月定額3万 + 研究費を実費精算）
- ・奨励金C：年間最大250万円（研究補助費として毎月定額3万 + 研究費を実費精算）
※継続的な支援を得るには、定期的なアウトプットおよび活動報告が必要となります。
※支給期間は支給開始（2025年度は8月を予定）から該当年度の3月末までとなります。
※繰り上げ採択について

選考時に奨励金BまたはCに応募して不採択となった場合でも、一定の水準を満たしていれば、追加書類の提出なしに下位の奨励金で採択される可能性があります（いずれのプログラムにも採択されない場合もあります）。具体的には、以下のようなケースです：

- 1) 奨励金Cを希望した応募者が、奨励金BまたはAで採択される場合
- 2) 奨励金Bを希望した応募者が、奨励金Aで採択される場合

◇奨励金AのAIツールの活用例

- ・ChatGPT o1 proモード
- ・Gemini Advanced など

◇奨励金B／Cの活用例

- ・人文社会×AIの研究進展に資するためのAIツールやエージェントの利用費
- ・人文社会に関する書籍購入費
- ・各種学会等の参加費や宿泊交通費
- ・HUMAIで行われるリアルイベントの交通宿泊費
- ・AI技術の社会実装に向けた開発・調査研究・実証実験の実施（現場でのフィールド調査や実装テストなど）
- ・研究集会、議論会、ワークショップの開催（受給者が主体となって自由に企画・実施可能）
- ・著名な研究者や専門家の招聘（謝金額の設定など、受給者の裁量によって、通常は招くことが難しい人物の招へいが可能です。）

◇奨励金支給に伴う活動（詳細は下記のプログラム内容を参照）

年2回の活動報告や年度末のレポートの期限内の提出を前提とし

- ・奨励金A：オンライン定例会での活動として
 - └ 「AI活用」「研究アイデア発表」に関するアウトプットを行うこと
 - └ 読書会へ参加すること
- ・奨励金B：オンライン定例会での活動に加え
 - └ 研究・実践に向けた取り組み
 - └ 研究費には必ずAI活用に関するものを入れること
 - └ ディープラーニングに関する一定の専門的な学修の実施※1
 - └ コミュニティへの貢献
- ・奨励金C：オンライン定例会での活動に加え
 - └ 具体的な研究・実践※2
 - └ 研究費には必ずAI活用に関するものを入れる
 - └ ディープラーニングに関する一定の専門的な学修※1
 - └ コミュニティへの貢献

※1「ディープラーニングに関する一定の専門的な学修」とは、

Bは書籍『[深層学習](#)』の第二部までの内容

(ZEN大学の講義「[ディープラーニング1,2](#)」相当の内容)

Cは書籍『[Super Study Guide: Transformer と大規模言語モデル](#)』

(ZEN大学の講義「[ディープラーニング3](#)」相当の内容)



学修完了の確認やテスト等は実施しませんが、年度末の活動報告の中で何を学んだのか、手を動かしたのかを記載いただきます。

※2 研究計画上の最終成果を求めるものではありません。

◇支給停止について

- ・3か月間コミュニティ内での活動がみられない場合
 - ・活動報告やレポート／プレゼン等、事務局が指定するアウトプットを期限内に提出／実施できない場合
 - ・その他、日本財団HUMAIプログラム 事務局が不適切だと判断した場合
- 上記の場合には、奨励金の支給を停止します。

◇他の支援制度との併用について

日本財団HUMAIプログラムの奨励金制度は、日本学術振興会特別研究員（DC1/DC2）をはじめとする他の支援制度との併用を制限しておりません。

ただし、併給を希望する場合は、必ず各自で所属大学および当該支援制度（例：学振事務局）に対して、併給の可否や手続き等について事前に確認を行ってください。

※併給に関する手続き不備により不利益が生じた場合でも、本プログラムは責任を負いかねますのでご注意ください。

▼プログラム内容*

◇HUMAIコミュニティ（ZoomやSlack等を利用）

本プログラムに参加するメンバーとオンライン上で交流する場です。

AIや研究に関する情報共有や意見交換ができます。

└定例会

本プログラムに参加するメンバーが、オンライン上で2週間に一度集まり、学術研究交流・AI活用シェア等を通じて定期的なアウトプットを行います。

定例会は木曜夜の時間帯を予定しています。

また、後述する奨励金Aのメンバーは、読書会で人文社会領域やAIに関連する書籍を題材に、少人数グループでの輪読を行い、理解を深めます。

* 本プログラムは日本財団の支援と東京大学松尾・岩澤研究室の協力の下運営され、定期的な定例会において、AI活用チューターが本プログラムに参加予定です。

└Slackを利用したAIツール活用報告

Slack上での定期的な共有を通じたAI活用に関する活動報告を行っていただきます。

◇活動報告・レポート／プレゼン

本プログラムでの活動に伴う資金の用途や活動について、年2回の活動報告を行います。

また、年度末には以下の要件で自身の学術研究活動に関する論説を執筆していただきます。

- ・奨励金A： 4,000字以上（予定）
- ・奨励金B/C： 12,000字以上（予定）

◇HUMAI Anthology（仮）

本プログラムにおいて、年度末に執筆いただく論説のうち、特に優れたものは「HUMAI Anthology（仮）」として編集・外部への公開を予定しています。

このAnthologyは、AIを前提とした社会やアカデミアにおける多様な学術的探究や実践を記録・共有する場として位置付けられ、参加者が取り組んだ研究や考察を外部に発信する機会を提供いたします。

掲載基準や発信の詳細については、プログラム内で改めて案内いたします。

◇最終プレゼン

奨励金B/Cの受給者のうち選抜された参加者には、年度末に最終プレゼンを行っていただきます。

◆◆◆募集要項◆◆◆

★対象者

本プログラムは、

人文社会領域を中心とした多様な関心をもつ、AI初学者の大学生・大学院生を主な対象とします。

◇応募条件

- ・2025年4月1日時点で満30歳以下の方。
 - ・大学・大学院・研究機関等、何らかの教育／研究機関に所属していること。
 - ・都内近郊での対面型のイベントを実施する場合もありますので、必要に応じてそちらに参加可能な方（初回の対面型のイベントを9/6~8に予定しています）。
 - ・本プログラムの活動は日本語を基本とするため、日本語でのコミュニケーションが可能な方。
- ※また、高校生（およびこれに相当する高専生等）も応募可能です。
活動は大学生以上を想定した内容ですが、関心のある方であれば学年を問わず歓迎します。

◇募集人数

- ・奨励金A：100名 程度
- ・奨励金B： 22名 程度
- ・奨励金C： 3名 程度

★選考スケジュール（予定）

【応募締切】：6/6（金） 23:59



【一次選考期間（本フォームの提出内容による書類選考）】：6/7（土）～6/19（木）



【一次選考結果発表】：6/20（金）

- ・A希望：二次選考（書類確認面談）へ進む
- ・B/C希望：二次選考（面接審査）へ進む



【二次選考期間（面談・面接）】：6/21（土）～7/11（金）

- ・A希望：書類確認面談
- ・B/C希望：面接審査



【二次選考結果発表】：7/12（土）

- ・A希望：奨励金Aの合格者が決定
- ・B希望：奨励金Bの合格者が決定
- ・C希望：最終プレゼンに進む6名が決定



【最終プレゼン審査会（C希望者のみ）】：7/19（土）

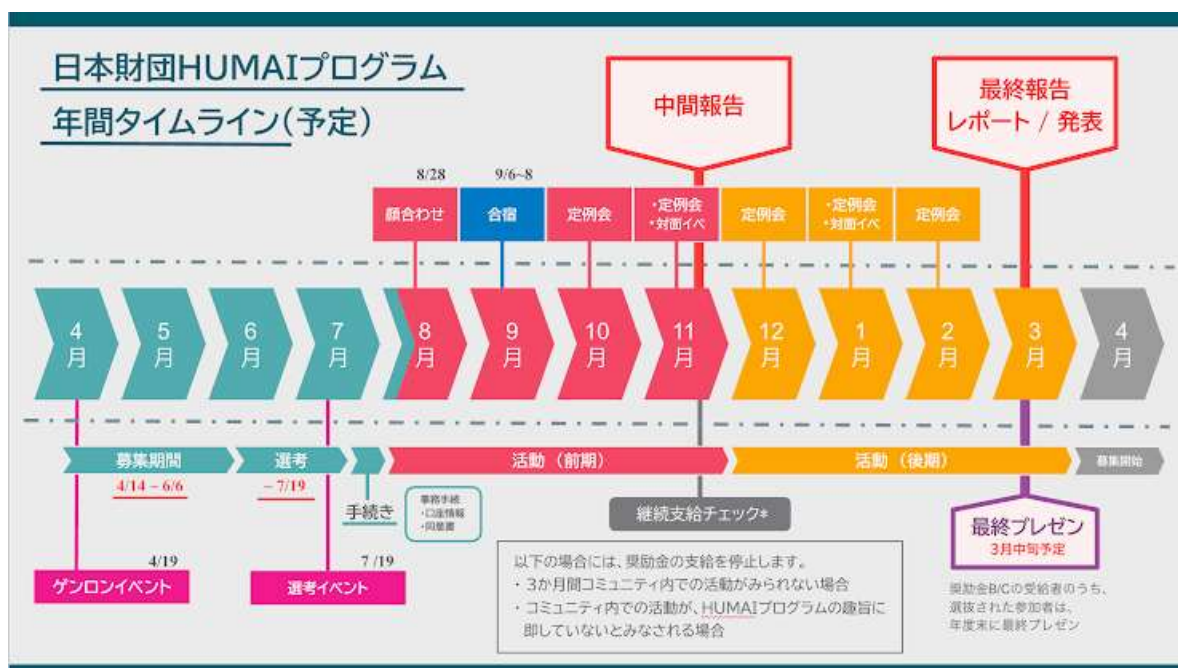
- ・奨励金Cの希望者のうち、二次選考を通過した6名には最終プレゼン審査会に臨んでいただきます
- ・審査会でのプレゼンテーションおよび質疑応答、結果発表の様子はYoutubeおよびニコニコ生放送で配信いたします
- ・審査員（敬称略）：東浩紀、松尾豊、宇野毅明、川上量生を予定しています
- ・会場：東京近郊を予定しています
- ・現地参加必須。プレゼン審査対象者には国内交通費を補助いたします（上限3万円、超過分は応相談）



共有なし

* 必須の質問です

年間タイムライン（予定）



◆◆◆個人情報保護方針◆◆◆

ZEN大学における個人情報保護方針に準じます。

ただし、日本財団HUMAIプログラムの連携パートナーである公益財団法人日本財団と共有する場合があります。

◆◆◆ お問い合わせ先◆◆◆

日本財団HUMAIプログラム 事務局

humai-gr@zen.ac.jp

個人情報保護方針（上記記載）に同意しますか？ *

☐ はい

応募者の所属 *

個人情報保護方針は[こちら](#)からご確認ください

- ☐ 大学生
- ☐ 大学院生
- ☐ ポスドク
- ☐ 高校生、高専生等（未成年の方）
- ☐ その他（高専生（成人）を含む）

次へ

1/5 ページ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは 学校法人日本財団ドワンゴ学園 内部で作成されました。
このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

Google フォーム



